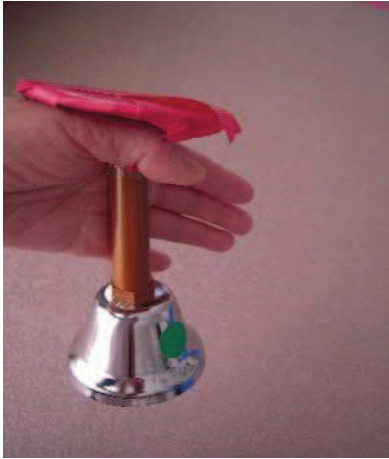


楽器教材の工夫

腕の可動域が狭く、ハンドベル（ミュージックベル）を鳴らしにくい子どものために教材を工夫してみました。この工夫により、「星に願いを」の曲の一部を3種類の和音をみんなで演奏することができました。



ハンドベルを握力の弱い人でも少しの力で持てるようにするために、丸く切ったボール紙で支えを作ったり、マジックテープ付のバックルで掌をとめたりしました。



指先のわずかな動きに左右の揺れを加えると、柔らかな音が鳴ります。

ベルハーモニーと木製玉を使って、柔らかい金属音が出せるばかりでなく、一度に三音の和音が出せるように工夫しました。

右の写真は、プラスチックホースにハンドベルをさし、プラパンボードに貼り付けたものです。これを机に固定すると、わずかに触っただけでも音が鳴ります。

